

海老名市立有鹿小学校 学校運営協議会 議事録
(令和4年度 第1回)

- 1 日時 令和4年5月26日(木) 10:00~12:00
- 2 場所 海老名市立有鹿小学校 コミュニティ・ルーム
- 3 出席委員 碓井雅巳会長、鍵渡正徳副会長、越智正則委員、北川八重子委員、大久保敏委員、田中由美野委員、伊藤恵美子委員、加藤誠一委員、境景子委員、内山大輔委員、徳山敬倫委員

4 会議の内容

(1) 委嘱状交付

海老名市教育委員会より小宮洋子理事が教育長代理として委嘱状交付。

小宮理事：本来であれば3月末にお一人お一人にお電話でお伝えしたかったが、慌ただしく叶わなかった。本日は直接お目にかかれて本当に嬉しいです。この場は、学校がいろいろと相談させていただくことのできる貴重な場になるので、お力をお借りしたい。今年度はWithコロナで様々な取組をする年になるので、ご支援をお願いしたい。

(2) 会長、副会長の選出

会長に、碓井委員を選出。

副会長に、鍵渡委員を選出。

(3) 会長あいさつ

碓井雅巳会長：自分も子ども、孫も有鹿小学校の卒業生で結びつきが強いので、できることに取り組んでいきたい。

(4) 学校長あいさつ

前校長を引き継いでいきたいと考えているので、お力添えをいただきたい。

(5) 議事①令和4年度の教育計画、学校の様子と取組

境校長：年間計画については、昨年度承認をいただいた計画で本年度をスタートした。

市内の感染レベルは「2」で教育活動を行っている。様々な教育活動がコロナ前に近い形で実施することができるようになってきた。

水泳学習も3年ぶりの実施となり、感染症対策や実施方法の確認などを職員で研修を行いながら進めている。

6月のバス遠足では感染症対策を行い、実施する予定。
野外教育活動も1ヶ月前の判断では実施の判断になっている。
地域の方の学校への関わりについても徐々に戻ってきている。
学校教育目標については令和4・5年度の2年間の具体目標を掲げて教育活動を行っている。
学級編制については6年生が1クラス減り全学年3クラスとなっている。
支援級については今年度も4クラスとなっている。
年間計画についてはこれまで予定通りに実施した。授業参観では保護者からも肯定的な意見が多かった。今後は感染状況に合わせて実施する。
児童の健康管理がカードからオンラインに変更している。
マスクの着用について変更があったが、登下校時などはほとんどの児童がマスクを着用している。
オンラインの取組についても継続して取り組んでいる。今年度着任した職員も慣れてきている。

鍵渡委員：園でもICTを活用している。バスの位置情報が分かるアプリや健康管理のできるアプリを使用し始めている。

碓井委員：3年間マスクを着用しているので、表情が見えないことで子ども達に影響はでているのか。

加藤委員：体育や登下校のマスクを外すという取組は、近隣の市よりも海老名市は対応が早かった。

境校長：海老名市はマスク対応について事前に準備をしておき、国の方針が示されたのと同時間に対応した。

田中委員：子どもの中にはマスクを外すことに抵抗を感じている子もいる。

伊藤委員：マスクを外すとなると、外したくない子への配慮も必要となる。

北川委員：あそびっ子でもマスクをして活動している子もいる。

加藤委員：運動の際には、マスクを外すことが当たり前になってきている。

境校長：水泳学習でもマスクを外すことになっているが、外した際には話さないこととしている。しかし、担任は指導の難しさを感じている。

鍵渡委員：園でも2年間プール遊びをしていないが、学校ではどのような感染症対策で実施しているのか。

境校長：子ども同士の距離を取ることを基本として実施している。

大久保委員：コロナ対策で水泳を行う時間が短くなることなどは工夫できるといい。子どもの将来への影響を考えて、マスク対応などについて保護者の考えなどを踏まえて検討していけるとよいのではないかと。

田中委員：(昨年度からの鼓笛応援隊の活動や今後の計画を説明)

鼓笛を披露する機会も増やしているので、学校運営協議会の皆さんにも機会があれば見ていただけるとよい。

境 校 長：学校では鼓笛を指導することができる職員が高学年に必ずしもいるとは限らないので、応援隊の方から教えてもらえることはありがたい。今後も鼓笛を披露する機会が増やせればと考えている。地域の有鹿小として取り組んでいきたい。

(6) 議事②令和4年度学校運営協会、実施計画

境 校 長：(年間の日程と内容について説明)
全委員から承認

(7) 「目指す姿」の実現にむけて協議

時間の都合上、協議は次回以降に実施する。

(8) 事務連絡

今後の学校運営協議会の開催について確認
令和4年10月13日(木)10:00から開催予定。

(9) その他

加藤委員：地域の中で不審者等の情報提供があった場合の対応についてはどうか。

越智委員：地域の方に見守ってもらうようにしていくとよい。

加藤委員：立哨やふれあいパトロールを通じて、PTAとしても見守っていく。

北川委員：こども110番の家について活用していくとよい。

大久保委員：子ども達にもどこにあるか周知していくとよい。

北川委員：こども110番の家の人はずいぶん子どもの登下校の時に家の外に出てもらえる
とよいのではないか。

各 委 員：子どもの安全についての取組について複数の意見が出された。

鍵渡委員：有鹿小学校の子どもが挨拶をしてくれた。その挨拶で地域の方も挨拶してくれた。嬉しい出来事だった。